

日時 令和2年4月28日(火) 午後2時～午後2時40分
 場所 兵庫県民会館6階(兵庫県体育協会 専務理事室)

■出席者

兵庫県中学校体育連盟

村崎和幸(兵庫県中学校体育連盟会長 明石市立大久保中学校長)
 永井邦治(公益財団法人 兵庫県体育協会 専務理事)
 藤原博文(公益財団法人 兵庫県体育協会 事務局長)
 田村純一(公益財団法人 兵庫県体育協会 事務局次長兼事業課長)
 佐藤貴康(公益財団法人 兵庫県体育協会 事業課 指導主事)
 土井一弥(兵庫県教育委員会体育保健課学校体育班主任指導主事)

丹波篠山市

酒井隆明(丹波篠山市長)
 稲山 悟(丹波篠山市教育委員会教育部長)

丹波篠山市

丹波篠山市の篠山東中学校女子ソフトボール部は、令和元年度、1年生2人、2年生6人、3年生1人の計9人ながら、県大会でベスト4の成績を残した。

しかし、中学校の部活動規定では、1・2年生で年度当初9人に達していない状態が2年続いたときは廃部にするとの規定があり、令和2年度については部員は募集しない方向で進んでいた。

そうしたところ、同じ中学校区内においてソフトボールで大変活躍している小学生があり、保護者や地域住民から、子どもの夢をつぶさないで欲しいとの要望書と署名が市長あてに出された。

これを受け、篠山東中学校では保護者や地域の声を尊重され、女子ソフトボール部の存続が認められることとなったが、市内中学校の部活動の存続と廃止のルール、指導員の確保などについて、市内中学校全体に関わることから、総合教育会議で検討を進めてきており、兵庫県中学校体育連盟で決めておられる複数校合同チームの詳細をお聞きするため、今日は来させていただいた。

兵庫県教育委員会が作成された「いきいき運動部活動」では、「少子化に伴い、単一の学校では運動部を設けることができない競技がある場合は、生徒の運動活動の機会が損なわれないよう、複数校で実施するなど合同部活動等の取組を推進します」とあるがどうなのか。

兵庫県中学校
 体育連盟

複数校合同チームについて、兵庫県中学校体育連盟では日本中学校体育連盟の趣旨に基づき、個人種目のない6種目【バスケットボール(5)・サッカー(11)・バレーボール(6)・ハンドボール(7)・軟式野球(9)・ソフトボール(9)】のみを認めており、同一市郡町で基準人数未滿の学校間での編成を基本としている。ただし、人数未滿の学校が2校ない場合は、それ以上での編成も認めている。実際、但馬地区では軟式野球では、3校で拠点校方式を採用している。

丹波篠山市	<p>人数の足りない学校同士ではなく、丹波篠山市で1チームであるとか、東と西の2チームであるとか、そのような合同チームは考えられないのか。</p>
兵庫県中学校 体育連盟	<p>そのような合同チームは、ある程度人数が必要な野球やソフトボールなどの種目について、日本中学校体育連盟でも課題となっているが、認められていない。大会は、近畿、全国につながるので県独自で変えることはむずかしい。複数校の合同チームで取り組んで欲しい。</p>
丹波篠山市	<p>総合教育会議では、中学校長会から「部活動は大きな負担となっており、部活動でのケガや事故は学校の責任になり、安全な部活動のためには複数の顧問が必要。生徒数が減り、先生の数が減る中で部活動の数は減らさざるを得ない。合同チームも移動や調整で負担増となる。支援員、指導員も受け入れにくい」などの意見を聞いた。</p>
兵庫県中学校 体育連盟	<p>県教育委員会では、部活動の支援員、指導員については、国の方針にそって予算をつけており、活用して欲しい。部活動指導員については、令和元年度第36回兵庫県中学校体育連盟研究大会でも取り上げているので参考にして欲しい。</p> <p>朝来市では、平成31年4月から、部活動を目的とした校区外就学の規定をつくられている。</p>
丹波篠山市	<p>今日は兵庫県中学校体育連盟の考え方を聞き、実情などが分かった。今後、市の総合教育会議で協議していくので、引き続き、ご協力をお願いしたい。</p>